

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第70期中間期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

■当第2四半期連結累計期間の概況

当該期間におけるわが国経済は、政府による財政・金融政策の効果により回復基調で推移したものの、国内設備投資への波及については限定的なものにとどまりました。

こうした状況下において、当社グループの経営環境は厳しい状況が継続しました。前連結会計年度に行った欧州企業の買収効果もあり連結ベースでの受注高は5,651百万円(前年同期比417百万円、8.0%増)、売上高は5,428百万円(前年同期比312百万円、6.1%増)となりましたが、利益面に関しては単体収益の大幅な落ち込み

に加え、前年同期と比較して欧州以外の連結子会社の収益が落ち込んだことや持分法投資利益が28百万円減少したこと等が影響し、経常損失187百万円(前年同期は経常利益168百万円)となりました。特別損益に関しては、ツーリング事業の構造改革費用159百万円、金型のクレーム対策費用67百万円をそれぞれ特別損失として計上した一方、本社固定資産の売却等による特別利益1,284百万円を計上した結果、四半期純利益は1,047百万円(前年同期比1,039百万円増)、期末連結自己資本比率は44.8%となり、財務体質は大幅に強化されました。

■通期の見通し

半導体市場の低迷、中国をはじめとする新興国経済の成長率鈍化等により、当面厳しい経営環境が続くものと考えておりますが、第3四半期以降はモータコアをはじめとする売上の回復を見込んでおります。

当社グループの通期の連結業績は、売上高12,500百万円、営業損失50百万円、経常利益80百万円、当期純利益1,200百万円と予想しております。

期末配当予想につきましては、現時点での業績見込みから総合的に判断し、1株当たり2円とさせていただきます。業績の早期回復を目指し、構造改革の完遂と経営基盤の強化、海外展開、新商品の開発投入を今後一層加速してまいります。株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。



■ 駆動システム

半導体市場の低迷が続き単体ベースでの売上高が大幅に減少したものの、連結ベースでは前連結会計年度に行った欧州企業の買収により受注高・売上高はそれぞれ増加いたしました。一方で、利益面では単体での損失計上に加え、企業買収によるのれん償却の影響等により減益となりました。

当セグメントの受注高は2,472百万円（前年同期比628百万円、34.1%増）、売上高は2,400百万円（前年同期比397百万円、19.9%増）、営業利益は47百万円（前年同期比42百万円、47.4%減）の結果となりました。

売上高 **2,400** 百万円

平湖黒田精工にてボールねじ組付け開始

当社かずさアカデミア分工場において研修を実施し、平成25年12月より中国現地法人「平湖黒田精工」での現地従業員によるボールねじの組付けを開始いたしました。また、同社は10月よりJena TecグループのJenaer Gewindetchnik GmbH（ドイツ）製品の取り扱いを開始いたしました。



かずさアカデミア分工場での研修の様子

■ 金型システム

当該期間が自動車のモデルチェンジの狭間にあたったことによりハイブリッド自動車用モータコアの売上が減少したことに加え、中国子会社の損失が拡大いたしました。

当セグメントの受注高は1,233百万円（前年同期比271百万円、18.0%減）、売上高は1,263百万円（前年同期比124百万円、9.0%減）、営業損失は164百万円（前年同期は営業利益23百万円）の結果となりました。

売上高 **1,263** 百万円

ハイブリッド車搭載駆動モータコア

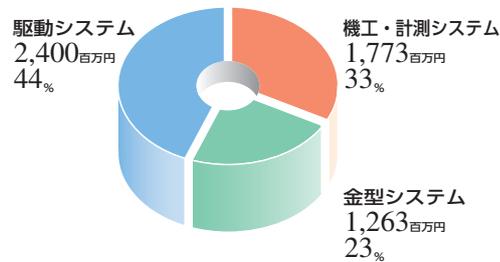


FIT HYBRID 2013.09.05

当社の高精度金型にて生産したモータコアが国内最高\*の低燃費を達成した本田技研工業株式会社の「新型フィット ハイブリッド」の駆動モータに採用されました。

※平成25年9月末現在。本田技研工業調べ

セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ 機工・計測システム

欧州企業買収効果があった一方、半導体・液晶パネル需要の冷え込みにより超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ）の売上が低迷したことに加えて、APIねじゲージ、工作機械の売上が減少いたしました。

当セグメントの受注高は1,954百万円（前年同期比43百万円、2.3%増）、売上高は1,773百万円（前年同期比22百万円、1.3%増）、営業損失は119百万円（前年同期は営業損失11百万円）の結果となりました。

売上高 **1,773** 百万円

ツーリング事業構造改革

平成25年9月、当社はツーリング事業について大幅な見直しを実施し、汎用ツーリング商品については、世紀貿易グループ（台湾）に事業譲渡をし、刃具ホルダーの製造販売から撤退することを決定いたしました。今後は競争力のあるクランピングユニット等の要素機器に特化して製造・販売を継続するとともに、昨年買収したJena Tecとのシナジーによる海外市場開拓および新商品開発を進めるほか、当社が持つ要素技術を融合した新規ソリューションの開発に注力してまいります。



クランピングユニットKMシリーズ

■ 本社不動産売却・移転

事業継続計画（BCP）の一環として実施した耐震診断の結果に基づき、今後の震災対応力の強化に加え、経済面および経営面からの観点も含めて検討した結果、川崎市幸区下平間の不動産を売却することを決定し、平成25年8月、新本社に移転いたしました。なお、本社管理部門については中期的に工場へ移管・集約し、経営効率の向上を図る予定です。

本社移転先

神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
川崎テックセンター20階



■ 「EMO Hannover 2013」 出展

平成25年9月、ドイツ・ハノーバーで開催された国際機械見本市「EMO Hannover 2013」において、ボールねじ、ハイドロリックツール、スピンドル等を展示いたしました。金属加工分野で世界最大の規模を誇るこの見本市にグローバルブランド「KURODA JENA TEC」として初めて出展し、その存在と技術力をヨーロッパ市場にアピールしました。



■ IR活動の展開

平成25年7月、当社代表取締役社長 黒田浩史がラジオNIKKEI「マーケットプレス」内で、東京証券取引所が展開する日本経済応援プロジェクトに連動してマーケット、企業そして日本の魅力を企業経営者や有識者が語るコーナー「東証+YOU～マーケットから日本を元気に!」へ出演し、当社の強みである精密技術へのこだわりや今後の方向性、展望についてお話をしました。

# 四半期連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 平成25年9月30日現在	前 期 末 平成25年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流 動 資 産	<b>7,386</b>	<b>7,110</b>
固 定 資 産	<b>10,121</b>	<b>11,273</b>
有 形 固 定 資 産	6,495	7,857
無 形 固 定 資 産	1,512	1,450
投 資 そ の 他 の 資 産	2,113	1,965
資 産 合 計	<b>17,508</b>	<b>18,384</b>
<b>(負債の部)</b>		
流 動 負 債	<b>5,126</b>	<b>7,008</b>
固 定 負 債	<b>4,325</b>	<b>4,595</b>
負 債 合 計	<b>9,451</b>	<b>11,603</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株 主 資 本	<b>6,248</b>	<b>4,665</b>
資 本 金	1,875	1,875
資 本 剰 余 金	1,451	1,451
利 益 剰 余 金	2,929	1,346
自 己 株 式	△7	△7
その他の包括利益累計額	<b>1,597</b>	<b>1,914</b>
その他有価証券評価差額金	421	352
土 地 再 評 価 差 額 金	849	1,413
為 替 換 算 調 整 勘 定	326	148
少 数 株 主 持 分	<b>210</b>	<b>200</b>
純 資 産 合 計	<b>8,056</b>	<b>6,780</b>
負 債 ・ 純 資 産 合 計	<b>17,508</b>	<b>18,384</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	前第2四半期累計期間 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日
売 上 高	5,428	5,115
売 上 原 価	4,183	3,897
売 上 総 利 益	1,245	1,218
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,497	1,127
営 業 利 益	<b>△251</b>	<b>90</b>
営 業 外 収 益	193	175
営 業 外 費 用	129	98
経 常 利 益	<b>△187</b>	<b>168</b>
特 別 利 益	1,284	—
特 別 損 失	247	1
税金等調整前四半期純利益	<b>849</b>	<b>167</b>
法人税、住民税及び事業税	27	32
法人税等調整額	△225	110
少数株主損益調整前四半期純利益	<b>1,047</b>	<b>23</b>
少 数 株 主 利 益	0	15
四 半 期 純 利 益	<b>1,047</b>	<b>7</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日	前第2四半期累計期間 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,431	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,147	△728
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	7
現金及び現金同等物の増減額	283	△673
現金及び現金同等物の期首残高	1,948	3,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,231	2,561

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■会社の概要

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年(大正14年)
資本金	18億75百万円
従業員数	439名

## ■連結対象会社の状況

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社	株式会社ゲージング
クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア)	日本金型産業株式会社
平湖黒田精工有限公司 (中国)	株式会社TKG
永昇電子株式会社	
韓国黒田精工株式会社	
KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国)	
Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)	
Kuroda Jena-Tec, Inc. (米国)	
Jena Rotary Technology Ltd. (英国)	

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、モータコア型、精密金属プレス製品
機工・計測システム	ツーリング、保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ、スピンドル

## ■株式の状況

発行可能株式総数	74,800,000株
発行済株式の総数	28,100,000株
株主数	2,456名

## ■所有者別株式分布状況

合計 28,100,000株



## ■大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
パーカー ハネフィン マニュファクチュアリング ユーケー リミテッド	9,400	33.49
株式会社みずほ銀行	1,381	4.92
黒田 浩史	1,169	4.16
黒田精工取引先持株会	795	2.83
株式会社横浜銀行	748	2.66
三井住友信託銀行株式会社	616	2.19
朝日生命保険相互会社	500	1.78
株式会社損害保険ジャパン	412	1.46
簡 文治	379	1.35
日本生命保険相互会社	377	1.34

\*持株比率は自己株式(32,782株)を控除して計算しております。

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.kuroda-precision.co.jp/">http://www.kuroda-precision.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

## 株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に記録された株式

特別口座に記録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。  
株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## 黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

